

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7
(榎田ビル2F)

TEL.054-252-2418
FAX.054-252-2430

発行人 井上博幸

平成23年度に向けての取組み



理事長 井上博幸

我が国経済は、長引く不況に加え、この度の東日本大震災により未曾有の被害が発生し、極めて厳しい状況に陥ることが予測されるが、しかしこの復興には各業界が連携し全力で取組むことが求められています。

こうした中、建築板金業界を取り巻く経営環境は、受注の激減や資材価格の高騰、施工単価の低落などにより依然として厳しい状況下に置かれているが、建設業界に身を置く者として、復興への協力も念頭に置き、こうした原状を打破していくために、組合員一人ひとりが強固な意思をもとに団結して、組織力を活用した行動を起こしていく必要があると思います。

た責任施工保証事業の推進や各種保険事業の取次ぎ事務などが実施されました。これらの事業は組合員各位の協力のもと、一定の成果を上げることが出来ましたが、再度検証して今後の事業推進に反映させて行きたいと考えています。

23年度事業については、基本的には前年度と同様になるが、事業効果を向上させるための見直しや新たな取組みとして何が出来るのかを検討するなど前向きかつ積極的な姿勢が求められています。

例えば、今注目の太陽光発電や住宅リフォーム事業への参入についての意見交換や新分野開拓の情報交換なども考えられ、また責任施工保証制度については外部への一層の周知により営業的な活用を図ることも考えられます。更には、組合情報の提供、発信は、内部向けが主体になっていくが、外部に向けての発信のあり方についても検討が必要かと思えます。

また、「登録建築板金基幹技能者」については、制度の活用拡大について推進協議会と共に国や地方自治体への要望活動に

取組んで行きます。青年部については、部員の減少等により事業活動に支障が生じているが、今後の建築板金業界を担う後継者養成や技術技能の伝承等の観点から支援は重要であり、各支部においても多面的な支援に努めて頂きたいと思いま

「役員会及び商品説明会」の開催



組合の事業活動は、言うまでもなく組合員全員に参加によって、目標達成に努めなければなりません。県板各支部が丸となって推進して頂くよう、新年度の幕開けに当たってお願ひ申し上げます。

部の役員会並びに商品説明会が並行して、四月十日(日)に静岡労働会館で開催された。

県板青年部については、部が組織化されていない支部が多く、正規の部員は、現在7支部46人で活動への参加者が限定されており、部の存続も危惧されている。

こうした中、役員改選が審議され、新部長に富士支部の萩原拓也氏、副部長に静岡支部の伏見隆廣氏と榛南支部の多田涼氏が、部員の全面協力を条件に就任を承諾された。

また、親組合としても、青年部活動の活性化への支援協力は重要課題として、その第一歩となる当日の会合へは、井上理事長を始め多くの役員等が出席され、青年部との意見交換なども行われた。

今回の会合について小沢青年部長からは、次のようなコメントが寄せられた。

青年部長 小沢範久
六年前より役員を務めておりますが、ようやく新たな一歩を踏み出したと思えます。以前ですと青年部としての活動は、中板協や全板連の要請に基づき、総会や役員会等に出席するだけの組織でした。静岡県としての意見というよりは、部長個人の考えでしかなく、劣等感さえ感じました。このままでは、部長にかかる負担はあまりにも大きく、とても大変である。しかしながら、全国の同業者、同年代の仲間との出会いはとても貴重であり、自分にとって財産となりました。そして、この出会いには組合に在籍していなければ、絶対にありません。県内の仲間にも、同じように感じています。

静岡県内でも何かきっかけでもあればと思ひ、役員会や懇親会を重ねてきました。少しずつ部員も増え、組織として機能しはじめたのではないかと思います。今回の役員会で新役員三名と、持ち回りについても確認でき、次につながる重要な会議になりました。

「楽しくなければ青年部じゃない」。私はそう思います。

「東日本大震災」への義援金
この度の東日本大震災による被災地の皆様方には心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の災害から立ち上がり復興を果たすためには、正に全国民が一致団結して、それぞれの立場で協力していくことが求められています。

こうした中、全板連では「災害対策本部」を設置して全国各組合の協力を得て、被災地を応援するため義援金の募集を行うことになりました。お一人二千元以上をお願いしましたが、東海地震が心配される地域だけに、他人事ではないと多くの組合員から予想を上回る善意が寄せられました。四月二十日現在、十七支部、三百六十七名から八十三万五千円の義援金が寄せられ、中には一万円五千円等の募金をいただき、全板連あて送金しました。

また、青年部では「がんばろう日本!、負けるな東北!」をスローガンに独自の募金活動を行っています。

なお、皆さんからの義援金は、五月十二日開催の全板連青森大会の式典にて、被災地区に対し授与する予定になっています。

授与する予定になっています。

「山崎事務局長の退職」 事務局の人事異動

本組合事務局主任の山崎加津代さんが、本年三月三十一日を以って退職されました。

山崎さんは昭和五十七年三月以来、二十九年余に亘り県板金組合と共に歩み、隆盛期や苦境の時代などにあつて、様々なご経験をされ、組合運営の裏方として一生懸命組合に尽くされてきました。

また、温厚で誠実なお人柄から多くの組合員の皆さんに好感をいただき、この度の退職に当り感謝の声が寄せられています。正に組合の歴史を語ることの出来るお一人で、職場を去るに当たっては人一倍感慨深いものがあつたと思われまます。



今後はご健康に留意され、ご趣味の民舞踊に精進されるなど、益々のご活躍をお祈りいたします。

なお、四月十二日には常任理事会等の役員有志による「歓迎迎会」がクール会館にて開催されました。

また、後任には四月一日付けで、新宅尚代さんが採用されました。新宅さんは、前職の静岡県木造建築工業組合での経験を基に、当組合での事務処理について、早く精通するよう努力されておりますので、宜しくお願ひします。

退職に当り 御礼の言葉



山崎加津代

昭和五十七年三月より、平成二十三年三月まで、二十九年一ヶ月と長きに渡り、組合にお世話になりました。大変有りがとうございました。これも、一重に、歴代の理事長様初め、役員の皆様、そして組合員の皆様が温かいお心で

見守って下さったからだ、心から感謝の気持ちで一杯です。

振り返れば、当時組合員様も千三百人と全国一位ではなかったでしょう。まして平均年齢も若く、何事も活動的な良き時代でした。

技能検定の受験者も多く、私も講習会、競技大会等の手伝いに行き、初めてのご経験でしたが、皆様のお顔やお名前も早く覚える事が出来ました。団体保険の加入者も多く、異動も頻繁で他にも多くの仕事を任せられ、期限までに間に合わない時には残業し、又家に持ち帰り一生懸命こなすことが出来たのも若さゆえかと

今、色々な事が走馬灯のように浮んでまいります。長くて短かった二十九年、大好きな組合員様と共に、人生の三分の一を過ごすことが出来、幸せに思う反面、組合を去ることの寂しさが、今胸に込み上げてまいります。組合員数も年々減少し四百名を割り、三五八名と、当初の三分の一になってしまいました。心傷めております。でも世の中、これから、又、技能士である大勢の皆様のお力が必要なきと来ると私は信じております。それまでどうぞお

力を合わせ組合を守って行つて下さい。私も孫の世話と大好きな民舞の楽しさを、一人でも多くの方に知ってもらい、踊りの輪を広げて行きたいと夢を持ち、実現出来るよう頑張ります。

平成23年度富士支部総会 新支部長に望月哲男氏

平成二十三年四月十四日18時30分より、富士市青島町「角山」で富士支部総会を開催した。



三月十五日に発生した富士市、富士宮市を襲った震度6強の激震で多数の家屋が被害に遭われた。そんな中、我々業界は非常に忙しい最中にも関わらず欠席者も極僅かで、通常総会が開催された。諸般の事情もあり各界の招待者は抜きに行つた。

最後になりましたが、組合の益々の発展と皆様方の御健勝を祈願いたしまして、御礼の言葉に代えさせていただきます。本当に有難うございました。

平成二十三年三月三十一日

川崎長清支部長が挨拶

川崎長清支部長が挨拶に立ち、事業報告、会計報告、会計監査の後、市場の厳しい状況を説明、生きる為には最大の努力で、この難関を乗り越えようと、挨拶があつた。

県板を代表して常任理事の野村氏が、三月十一日の東北地区東日本巨大地震の後、日本中が大混乱の中にあつて、我々業界がかつて経験した事の無い事態に陥り、富士地区地震災害の復興に貢献しようにも資材が品薄の為、いち早く工事が出来ず、皆も辛い思いをして居るのではと語られた。全板連より震災に遭われた東北地方の同業者、家族、従業員を支援する為の義援金の勧募を一口二、〇〇〇円で何口でも支援してほしいと訴えられた。新支部長に就任した望

月哲男氏が、非常に厳しい中であるが、精一杯の努力をするので、皆様のご協力を御願ひしたいと挨拶された。その後、富士支部として支援金を早速、県板事務所に振り込む事で全員の了解を得て了承された。

最後に野村常任より青年部について、県青年部役員会の席上で部長職の選出に対し、難航していたが、富士支部より萩原拓也君が正々堂々と拳手をして自ら県青年部を代表する部長職を引き受けた事は誠に男らしいと、報告があつた。富士支部全体で萩原君を盛り立てよう、御願ひがあつた。20時45分、肅々とした中、無事、総会が終了した。

第33回全国建築板金

競技大会開催



選手が図面を描くNYCの競技に19名、銅板製ミルクタンクを製作するZICの競技に39名が集結した。

初日は開会式が全板連、日板協会の青年部の役員が総力を挙げ勝負又真治全板連理事長、日板協会長を大会委員長に、実行委員長には永井紀久青年部長があたり、盛大に開催された。静岡県板も井上博幸理事長、林紀明東部地区長、野村和稔常任理事、中村敏一主任会計が出席した。

十三日(日)の競技大会当日は晴天に恵まれ、朝霧高原から見る男らしい富士の山が選手諸君の目を焼き付けてくれ、良い思い出になったと思う。

またこの時期は山頂から太陽が顔を出すダイヤモンド富士が眺められたと
思う。

昨日に引き続き4名の他、松浦源中部地区長、北村弘、青木進両常任理事をはじめ東部、中部地区より大勢の役員、組合員が静岡県を代表して競技する久保拓也、大場秀倫君に声援を送った。

選手諸君はミルクタンクの製作にあたり大会日の二ヶ月を切った時点で課題箇面の差し替えが行われ非常にご苦勞な事だったと思う。短期間の練習を乗り越え努力したことは競技の結果に関係なく人間として大きく成長した事だと思っております。

競技大会は高度の技能を競い、己を磨き合う素晴らしい場である。果敢に挑戦する事は自分のスキルが向上し、自信が付き、この経験が大きな財産となつて身を結ぶ事である。県板役員の一人士として久保、大場両君に敬意を表する次第である。今後、この経験を活かし豊かな人生を歩み、静岡県板金工業組合のためにも大いに頑張つて頂きたいと願う次第である。
大会が終了し、祝辞の中、井上理事長が選手諸君の労をねぎらい、全板

連青年部の関係者にお礼の詞を陳べられた。

また、勝又全板連理事長がこの大会の歴史に触れ、自らが青年部長の時に当時の全板連理事長から全国より競技選手を選出し全国大会を実施するよう指示があつた事に触れ、今日第33回目競技大会を迎えられた意義を語られた。今年第63回全国建築板金業者青森大会を最後に退任すると述べられ感慨を新たにされ、理事長の目に一瞬、潤む物を感じた。

第23回沼津技術専門学校 テクノフェア開催



平成二十三年三月六日(日)晴天に恵まれた穏やかな中、職業能力開発校としての沼津技術専門学校で第23回テクノフェアが

大会終了後、勝又理事長にお会いし青森大会の成功と再会を約し、堅い握手を交わし会場を後にした。

青空に映える白き富士山を後に、全国より参集した選手諸君及び運営に当たつた役員の前には無事、大会が終了したことへの満足感が残り、時間切だつた選手は再挑戦を胸に期し各々の故郷に帰っていった。何はともあれ素晴らしい事だつた。

報告者 常任理事 野村和稔

昨年に引き続き開催された。

県東部地区の職業能力開発の拠点として技能、技術の重要性が社会より理解される事を目指し、学生の精進の作品や技能職団体が技能技術をPRしテクノフェアを盛り上げた。

会場には多くの市民が10時の開門を待ちわびてイベント会場に向かった。中でも日本料理調理師会に依る、卵焼き売り場は長蛇の列が出来るほど盛況だつた。

我々、組合のブースに

も大勢の人が集まり、ステンレス製品のバケツや如雨露、塵取り、ダストBOX、銅製の水差しなど完売するほどの盛況だつた。一方、銅板ヘラ出し作業には親子連れや、御婦人の姿もあり、組合員の木村さん段原さん山田さんの指導のもと、上手に作品を仕上げニコニコ顔で満足そうであつた。



このような催しを通じ市民と良きコミュニケーションが出来た事は非常に有意義な事である。井上理事長をはじめ役員の方には大変ご苦勞さんでした。

参加者、井上理事長、林東部地区長、重杉、野村両常任理事、中村主任会計、山田、鈴木、技術検定委員、木村沼津支部長、段原三島支部長。

報告 野村和稔

協力店との意見交換会の開催

建築板金業界にとつても、受注工事の大幅な減少に加え、資材価格の高騰など大変厳しい状況が続く中、組合員にとつて身近な関係にある資材取扱業の協力店の皆さんとの意見交換会が、二十三年三月十一日静岡市のクール会館で開かれた。協力店からは、株式会社植松、株式会社高橋建設、株式会社梅村商店、

萩原スチール株式会社、西川鋼板株式会社社の5社が出席され、常任理事会のメンバーと活発な意見交換がなされた。

協力店側からは、「銅板など全品種について、昨年の値上げに続き本年も値上げが行われており、鉄鋼メーカーは強気で、なし崩し状態にある。値上げ時期等については不確定の要素があり、見積りの際はこれらの要素を見込んで慎重に行つて欲しい。最近施主の目が肥えてきており、材料についても神経を使う必要がある。また、見積り・

積算のソフトを開発し、販売している。」との紹介があつた。一方、常任理事からは、「値上げはともかく、ストックしている材料の値上げを見込んで出し惜しみなどないで欲しい。住宅建築について、最近、資材問屋が直接請負つて板金業者が下請けとして低額な工賃でやらされているケースがあり、施工側の立場も十分配慮して欲しい。」等の意見が出されたが、最後はお互いに今後円滑に意思疎通が図られるよう確認して閉会となつた。

<技能士会会員の皆さんへお願い>

社団法人静岡県技能士会連合会では、技能士の資格に対する一般社会の認識を更に高め、活躍の場を広げていくため、目じるしとなるステッカーを作製しています。下図はステッカーの見本で、黄色の下地に中心は赤色のマークになっています。

ステッカーの斡旋価格は、2枚1組で300円ですが、ご購入いただき、事業所や車両に貼付しご活用いただければと思います。

購入希望の方については、各支部で取りまとめのうえ、県板事務局にご連絡ください。

この他、屋外門標や技能士章楯、技能士バッジ、ヘルメットマークなどの販売も扱っています。



技術検定委員会開催 平成23年度事業計画を審議

技術検定委員会は、23年4月15日に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、松浦委員長を始め16名の委員が出席し、審議では前年度事業を総括し、今年度事業へ反映させるなど熱心に討議が行われた。

1 技能検定試験への対応について

試験に向けての実技講習会は、6月4日(土)・5日(日)にポリテクセンター静岡で実施することになり、学科講習会は、8月26日(金)・27日(土)に静岡労政会館で開催することが決まった。なお、23年度の検定試験は、実技が7月初旬、学科が9月4日(日)に実施予定となっている。

また、22年度の試験結果は、2級が全員合格に対し、1級は51.7%で実技での不合格が多いため、講習会後の自己練習をどのように取り組ませるかが課題となった。

2 技能競技大会について

事前講習会を9月11日(日)、競技大会を10月9日(日)にAコース、Bコースともポリテクセンター静岡で開催することとなった。

近年、参加者が減少し盛り上りに欠けるため、各支部、青年部等に呼び掛けを行い、参加者の確保を図ることとした。

また、本県で開催されている全国競技大会で、成績不振が続いていることへの対応として、今後は出場者に対し当委員会、青年部が中心に積極的に支援して行くこととなった。

3 WAZAチャレンジ教室の支援について

県内の実施希望校は、増加しているが県予算縮減のため、前年度10校から別表のとおり8校になった。東部地区6校、中部・西部地区各1校となっているが、県当局は今まで実施されていない学校、実施回数の少ない学校を優先的に選定した結果であるので、ご了解いただきたいとのこと。

課題作品は、前年度に引続き「バラの花」とすることになった。

4 「WAZAフェスタ2011 in しずおか」について

今年度は、地区輪番では西部地区開催であったが、本年12月に静岡県で技能五輪全国大会が開催されることになり、そのPRや準備のため静岡市での開催となった。

10月29日(土)・30日(日)に「ツインメッセ静岡」で開催されることになった。県板としては、「WAZA体験コーナー」、「展示・即売コーナー」、「名工展」等を開設予定であるが、中部地区が主体となって参加し東部、西部地区はこれに協力することになった。

平成23年度 WAZAチャレンジ教室一覧表

学校名	実施日	生徒数	担当支部	責任者
沼津市立立岡中学校	6月3日(金)	21名	沼津支部	木村公一
浜松市立丸塚中学校	6月7日(火)	25名	浜松支部	宮崎忠弘
沼津市立大岡中学校	7月1日(金)	20名	三島支部	山田 衛
静岡市立清水和田島小学校	7月5日(火)	5名	清水支部	山本良則
御殿場市立御殿場中学校	7月11日(月)	20名	御殿場支部	鈴木隆彦
小山町立小山中学校	7月12日(火)	17名	御殿場支部	鈴木隆彦
沼津市立片浜小学校	9月6日(火)	5名	富士支部	水野正人
沼津市立立岡小学校	9月22日(木)	20名	沼津支部	木村公一
合計		133名		

技能講習 (平成23年5月~6月)

主催：建設業労働災害防止協会静岡県支部

種類	会場と開催日	会費
玉掛け 技能講習	東部(学) 沼津労政会館 7月実施予定 ◇(実) ◇	23,000円
	中部(学) 静岡労政会館 5月27-28日 ◇(実) (株)上坂 5月29日又は6月5日	
	西部(学) 浜松労政会館 6月17-18日 ◇(実) (株)鈴木組 6月19日又は6月26日	
高所作業車 運転技能講習	東部(学) 沼津労政会館 6月2-3日 ◇(実) 東京電力(株)沼津技能研修センター 6月4日	Aコース 38,400円
	中部(学) 静岡労政会館 7月実施予定 ◇(実) ◇	Bコース 36,400円
	西部(学) 浜松労政会館 5月20-21日 ◇(実) 中部電力(株)貴布祢訓練センター 5月22日	
職長・安全衛生 責任者教育	中部(学) 静岡県建設業会館 6月22-23日	15,600円
	中部(学) 静岡県建設業会館 7月実施予定	

(注)申込は、建災防県支部 TEL (054) 255-1080・FAX (054) 272-6034又は各分会(各建設業協会内)

鉄鋼二次製品・伸銅品・建材の総合卸
金属製屋根・壁材の加工販売

株式会社 小池弥太郎商店

本社・工場 〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番
TEL054-263-2280
藤枝営業所 〒426-0041 藤枝市高柳2149-1
TEL054-636-4040
牧之原工場 〒421-0412 牧之原市坂部110-7
TEL0548-25-3975
東京事務所 〒101-0042 東京都千代田区神田東松山下町28
エクセル神田5B
TEL03-5297-4840

あんしん財団は、中小企業の皆さまを
サポートしています!

あんしん財団
http://www.anshin-zaidan.or.jp/

ケガの補償 災害防止 福利厚生

静岡支局 ☎0120-311-816

謹んで
お悔やみ
申し上げます

故 望月和彦様
(清水支部)
平成二十三年
二月八日逝去
(六十八歳)

訃報

欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品/銅・アルミ・ステンレス/化学製品
機械工具/住宅設備機器/エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

本社/〒437-1302 掛川市大淵9617
TEL 0537-48-3828(代)
FAX 0537-48-2644

セキノ横段屋根工法

ダンネットトップ 快適横段15

スッキリした
緩急ラインが美しい 快適エコルーフ

ジョイント部材不要 施工性

二重防水構造 防水性

遮熱塗装銅板使用 遮音性

断熱ボード工法 断熱性

トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折版構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

屋根積算はこれで安心

屋根積算ソフト **板金王**

業界初 レンタル契約で安心
板金王で商売繁盛

お求めは静岡県特約販売店10社へ
板金王 総発売元 西川鋼販株式会社

プレステージ

やね屋の太陽光発電! やってます!!

株式会社 植松

本社 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555
沼津営業所 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555
御殿場営業所 御殿場市清後545-1 TEL 0550-83-6760
伊東営業所 伊東市宇佐美稲田1111 TEL 0557-47-1363
富士営業所 富士市松岡寺新田413-5 TEL 0545-62-0233
製造部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1004
建販部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555